



退任のご挨拶

校長 杉田 和孝

本校に赴任以来3年の歳月が過ぎ、この3月をもちまして定年退職となります。在任中頂戴いたしました暖かいご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

不思議なことに、退任の日が近づくにつれ、20年前本校の古い体育館で、離任の挨拶をしている自分の姿が甦ってきます。思い返せば、36年間の長い教員生活のうち、前回の5年を含めて、通算8年間、身延高校にお世話になったこととなります。前回は担任として、今回は校長として身延高校に深く関わることができたことは、大変幸せなことであったと感じています。

さて、この3年間、「学びの学校づくり」と「レベルの高い文武両道の実現」を主たる学校経営方針に掲げ、「わかりやすい授業」の実践や「リメディアル教育」による基礎・基本の徹底、朝の読書の充実など、生徒の内部で、本当の「学び」が成立するように、さまざまな指導上の工夫を行ってきました。その成果が徐々にではありますが、現れはじめています。

今年度、進路面では国公立大学の合格者は18名。全員が「レベルの高い文武両道」を達成しました。また、部活面では、陸上部、男子ソフトボール部（全国5位）が全国大会に出場しました。なお、全国高校野球選手権大会山梨県予選での、33年ぶりベスト4の成果も忘れられません。

一方で、今年度は、募集定員普通科1クラス減など本校にとって試練の年でもありました。これに対応するために、校内に「身延高校の将来像を検討する作業班」を立ち上げ、この作業班を中心に校内研修会を実施しています。新年度になりましたら、検討の輪を校外にも広げていきたいと考えています。

皆様の心温まるご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。「輝く若葉は嵐と勢へり」、本校がこれからの激動の社会をしなやかに、かつ輝きながら生き延び、ますます発展されることを切に願いつつ、退任のご挨拶といたします。

山梨県立身延高等学校

409-2531 山梨県南巨摩郡身延町梅平1201-2